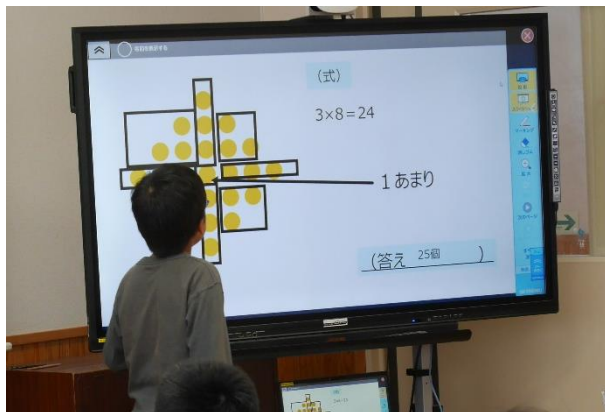


エリアリーダーによる1人1台端末を活用した 授業公開研修



佐賀市立新栄小学校 エリアリーダー 大宅 政彦 教諭

単元名：計算のきまり（小学4年 算数）

ICT活用のポイント

- 多様な考え方を1人1台端末に書き込むことで、考えを整理することができる。
- 1人1台端末で整理することで書き込むことに抵抗なく試行錯誤ができる。
- 発表時に全体に自分の考えを提示することができ、他の考えと比較することで相違点を見出しやすい。

本時の目標

- ドットの数の求め方を図や式に表したり、図や式から考え方を読み取り説明したりすることができる。（思考・判断・表現）

学習の流れ 全8時間（本時4／8）

導入	展開	まとめ
<p>①前時までの学習内容を振り返る。</p> <p>②めあてを確認する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>●が何個あるのか、いろいろな求め方を考え説明しよう</p> </div>	<p>③問題を知り、見通しをもつ。 プレゼン機能(1人1台端末)</p> <p>④自力解決をする。『ひとりでタイム』 授業支援ソフト(1人1台端末)</p> <p>⑤求め方を共有する。 ・友達に説明する。 授業支援ソフト(1人1台端末)</p> <p>⑥『みんなでタイム』 ・全体で考えを発表する。 授業支援ソフト(電子黒板)</p>	<p>⑦めあてを確認し、本時の学習をまとめる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>求め方を1つの式で表すことができる。</p> </div> <p>⑧適応問題を解く。 文書機能(1人1台端末)</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>図を用いて●の数の求め方を整理し、考え方を伝えることができる(ノート・観察)</p> </div>



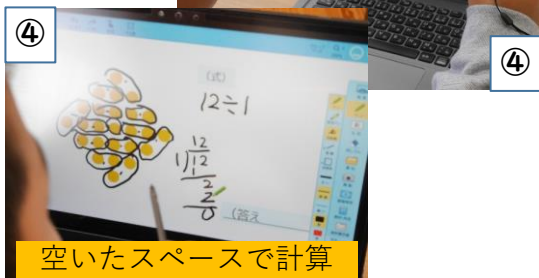
←「SAGA Econnect」サイトではたくさんの事例を紹介しています。

<https://www.saga-high-school.jp/e-connect/>

④ 1人1台端末へ入力



ペンを使って入力



空いたスペースで計算

④自力解決をする。『ひとりタイム』
【授業支援ソフト(1人1台端末)】

見 シートを増やすことで1つの考えだけでなく、色々なやり方を考えてまとめることができる。

見 手書き入力したりスタイラスペンを使ったり、キーボード入力をしたりと、自分のやりやすいやり方で書き込むことができる。

見 簡単に、何度も書き直すことが可能であるため、抵抗感なく試行錯誤でき自分の考えを整理しやすい。

⑤



自分の考えを説明

⑤求め方を共有する。

・友達に説明する。

【授業支援ソフト(1人1台端末)】

見 端末を活用することで見せるだけでなく書き込みながら説明することができ、より分かりやすい説明につながる。

教 それぞれの児童がどんな考えを持っているのかすぐに確認できる。

⑥



多様な考えを一覧表示

⑥求め方を共有する。『みんなでタイム』

・全体で考えを発表する。

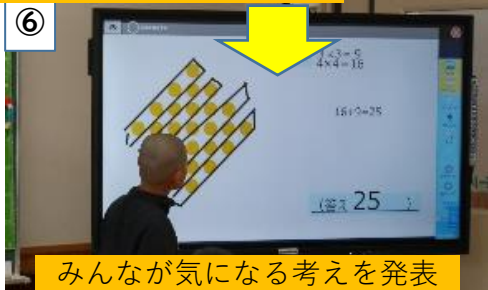
【授業支援ソフト(電子黒板)】

見 一覧表示をすることで、多様な考えを共有し、他の考えと比較することができる。

見 自分の考えを瞬時に大画面で説明することができるので、クラスの児童も理解しやすい。

教 板書の手間を省くことができる。

⑥



みんなが気になる考えを発表

1人1台端末を活用することで、子供達は書くことへの抵抗感が少なくなり、たくさんの考えを書き込むことができていました。端末活用によって試行錯誤が生まれ考えを深めることができていたのでまさに端末の良さを生かした普段使いにつながる授業でした。参観した先生方からは次のような声が聞かれました。

- ・授業を見させて頂いて、様々なアイデアをいただきました。
- ・普段は級外(専科)で算数の授業を見ることはないので、とても勉強になりました。
- ・普段から使うことが大事であると感じました。